

# 東谷フェスティバル通常開催



■発行 東谷地区まちづくり協議会  
 ■編集 まちづくり協議会広報部会  
 責任者 嶋川昭代  
 ■所在地 小倉南区木下704-1  
 東谷市民センター内

令和5年10月15日  
 (日曜日)

## 問い合わせ

東谷市民センター  
 TEL/FAX 093-451-0217  
 平日・土曜 9:00~17:00  
<http://higashitanikoho.sakura.ne.jp/>  
 Mail to: higashitani.cc@silk.ocn.ne.jp

**第10回東谷フェスティバル**  
**個人花火オーナー募集**  
 一口1,000円  
 みんなで綺麗な花火を打ち上げましょう  
 福引券配布

## 皆さまの来場をお待ちしています



東谷フェスティバル  
 実行委員長  
 内尾 正憲

月日の経つのは早いもので、もう十月になりました。今年には色々な行事もほぼコロナ前と同様な形で開催されてきました。そして東谷フェスティバルが11月18日(土)10時から開催されます。

第59回東谷地区文化祭は体育館内で展示やステージでの演芸。第15回東谷農業まつりは屋外で軽トラやポム菓子、豚汁、今年には体育館で餅まきも再開します。

ヘルスマイト(おでん・ぜんざい等)、青少年協(ビール・酎ハイ等)、市民センター(不用品・ケーキ等)、婦人会(コーヒートによるバザーに加え、カレー、から揚げ、ハンバーガー、メロンパン、たこ焼きなどのキッチンカーも来場予定です。本館グラウンド側では第

21回チャリティーコンサートを行い、今年には出演者も増やし、演奏を聴きながら飲食などが楽しめます。ファイナーレは恒例の秋はなびで締めくくります。つきましては花火オーナーへのご協力を是非ともお願いします。今回は個人オーナーへの福引券配布も復活します。

1日の開催ではありませんが、自身の詰まったイベントを企画していますので、観て・聞いて・飲んで・食べて・おしゃべりしながら楽しんでいただければと思います。地域の皆さまのより多くのご来場をお待ちしております。

**第10回東谷フェスティバル**  
**11月18日(土) 10:00~19:30頃**  
 場所:東谷興農会  
**第59回東谷地区文化祭** **第21回チャリティーコンサート**  
**第15回農業まつり** **お楽しみに!!**  
 秋はなび **主催:東谷フェスティバル実行委員会**

**東谷地区協議会**  
**平尾台共同開発地視察**  
 9月8日(金)9:30から、東谷地区協議会役員が視察に行きました。

## 地域に密着した企業として



住友大阪セメント(株)  
 小倉事業所所長  
 國江 信司

住友大阪セメント小倉鉱山の國江と申します。

この度、前任の杉尾に代わり、住友大阪セメント小倉事業所の所長に任じられました。合わせて小倉鉱業(株)の社長も務めさせて頂いていただくことになりました。

従いまして、本紙面をお借りして少々私の紹介をさせて頂きます。前任地は、

東京本社で約十年勤務致しました。資源の統括として営業の統括、鉱産品事業の全体の統括を担当して参りました。入社以来、当社国内グループ八鉱山の内、四鉱山を歴任し、今回で八回目の転勤となります。入社以来全国各地で鉱産品事業に係る仕事を行って参りました。しかしながら、この九州の地は初めての勤務であり、新鮮な気持ちで、着任以降過ごさせて頂いております。

特に、北九州は鉱業で発展し以降、ものづくりの工

業都市であり、私どもの業容としても、非常に刺激になるとともに、勉強になり、切磋琢磨しながらも、ビジネスチャンスの多き土地柄と思っております。

この様な地で私どもは、自然を相手にし、貴重な国の法定鉱物であります資源を開発し、国にそして地域に貢献すべく事業を行って参りました。今更には御座りませんが、石灰石の用途は、セメントの主原料に留まらず、北九州ではメイン産業であります製鉄所の副原料、コンクリート用の骨材、発電所に於いては排煙

が主用途となっており、紙用、医療用の薬剤、食品用と幅広く使用されており、わたたくしたちの生活に密着した素材となっております。無くてはならない素材なのです。また、この石灰石は、唯一国内で自給自足可能な資源なのです。従いまして私どもは、安定供給の責務とプライドをもち事業に臨んでおります。そして何より地域の発展に貢献すべく責務を負っていると考えております。

小倉鉱山は今年で昭和十年の開山以来、八十八年の歴史が御座います。ひとえに地元の方々全ての人の応援があつての事です。改めて、紙面をお借りいたしましたお礼申し上げます。今後とも当社は、社員に働きやすく安全な職場とし、地域には公害対策を進め、更には地域発展のためしっかりと業績を積み上げて参りたいと考えております。

**市丸小学校 収穫祭**  
**10月22日(日)**  
 9:00~11:10  
 学習発表と収穫したお米でおにぎり作りをします

**安心・安全パトロール**  
 ・10月27日(金)20時~  
 ・11月10日(金)15時~  
 東谷市民センター 出発!

11月	10月
15日(水) サロンばんざい(木下)	17日(火) ケア・トランポリン教室
14日(火) スマホ講座	18日(水) サロンばんざい(木下)
10日(金) 市丸カフェ	23日(月) 稲穂サロン(新二)
8日(水) ふれあい昼食会	24日(火) ケア・トランポリン教室
7日(火) パトロール15時	27日(金) パトロール20時
ケア・トランポリン教室	28日(土) つなひろ(国際交流)
ケア・トランポリン教室	「食文化交流」
ケア・トランポリン教室	ケア・トランポリン教室

**東谷コミュニティ カレンダー**

**10月の絵手紙**  
 今日はいよいよ  
 あるわ  
 絵手紙教室 東谷市民センター和室  
 10月27日(金)10時~お気軽にどうぞ  
 安田 久美子 さん 作



# 東谷健康づくりコーナー

## 「みんなで防ごう高血圧」

4月から、小倉南区役所保健福祉課で東谷地区を担当させていただいております、保健師の岡田です。どうぞよろしくお願いいたします。

東谷地区は、雄大な自然に囲まれた町並みが美しく、お会いする方々がとても温かいので、お伺いするたびに元気をいただいています。

さて、私たち小倉南区役所では、昨年度から「血管100年宣言!みんなで防ごう高血圧in小倉南」をスローガンに高血圧予防を重点課題として取り組んでいます。小倉南区は、北九州市で一番高血圧の有病率(ある一時点における高血圧の病気を有する者の割合)が高く、ここ東谷地区は小倉南区の中でも高い状況です。高血圧は心疾患や脳血管疾患の原因になるため、病気の早期発見・治療はもちろんのこと、予防していくことも大切です。

そのためには、①1日2回(朝・就寝前)の血圧測定②減塩の食事③適度な運動④年に1回の健診受診 をお勧めしています。

しかしながら、東谷地区の特定健診の受診率は小倉南区と比べて低いため、自らの健康状態を確認できる健診をもっと知っていただきたいと考えています。

皆様に気軽に受診いただけるよう、令和6年1月14日(日)に東谷市民センターで集団健診を行います。ぜひ、この機会を活用してください。(健診は事前予約が必要です。詳しくは、12月1日号の市政だよりをご覧ください。)

皆様の健康寿命(介護が要らずに生活できる期間)が延伸するよう、頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(問い合わせ先) 小倉南区役所保健福祉課地域保健係 電話: 951-4125



小倉南区役所保健師 岡田 圭子

東谷地区社会福祉協議会 副会長 河野 秀春



「第56回東谷地区敬老会」を開催しました。4年ぶりの新しくなった東谷農会体育館での初めての開催でした。長年、東谷地区社会福祉協議会の事務局を務めて来られた片山様がお亡くなりになられた後、初めての東谷地区敬老会でもありました。4年ぶり、また全体を熟知していた片山様がおられ

なかつたこともあり、開催日前の会場設営では、協力いただいた民生委員および東谷婦人部の方々には大変なご迷惑をおかけしました。私が前日の会場設営の担当者でしたが、事前の準備不足・勉強不足で、会場に並べる多くの椅子を何度も並べ替えるなどの作業を皆様にもご迷惑をおかけしました。また、80歳の記念撮影では、背景のスクリーンが用意できておらず、長時間の待機を強いる結果となりました。撮影対象者の皆様には改めて深くお詫言申上げます。

今後とも東谷地区社会福祉協議会へのご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。本年の「東谷地区敬老会」開催へのご参加・ご協力ありがとうございました。

ご参加・ご協力ありがとうございました

# 「写真でみるひがしたに歳時記」



4年ぶりの開催 式典と演芸の様子

9/18 東谷地区敬老会



9/16 豊前坊祭 (小森町内)



9/22 全市一斉パトロール



9/29 家庭教育学級 開級式



10/3 市民講座 「コンポストに挑戦」②



10/4 第1回文化祭実行委員会



10/4 避難訓練

# 東谷史跡探訪 ~その④~ 新道寺一町内

(文責: 西田 順一)

新道寺一歴史散策は、真夏の猛暑の為、現地散策は秋口に行く予定とし、今回は市民センターで講座のみ行いました。新道寺一町内は東の貫山系から西の福智山系迄広がる東谷の中央部に位置し、面積も広いので2回にわたっての講座・散策になります。前編では丸山・山ヶ迫の組内を紹介します。新一はその位置からJR石原町駅、JA農協、郵便局、小学校、医院・無法松酒造・山家醤油など各種施設、店舗などが集まっています。丸山は石原町駅の裏手の小高い丘陵地でその頂上付近に新道寺小学校があります。また、井手浦川と東谷川が合流する大出の堰の近くにはあまり知られていませんが昭和19年の太平洋戦争の真ただ中の年の宮中祭祀の新嘗祭の献上米を作った齋田跡記念碑などがあります。また旧322号線沿いの山ヶ迫では無法松酒造・山家醤油の老舗や県文化財の法円寺梵鐘や明治期に東谷の発展に尽力された山家家の方の顕彰碑なども残っています。

また、史跡や文化財ではありませんが新しいムーブメントとして、ヤングガンガンというマンガ雑誌に20年以上にわたり連載されている女子競技麻雀漫画『咲-Saki-』の主人公のライバル校として新道寺女子高という架空の学校が登場する場面の背景として新一の大出の堰周辺が描かれた場面が登場します。それで熱心なファンの方が聖地巡礼として作中の場面を特定するためにこの地を訪れることもままあるようです。

東谷歴史散策のお問い合わせは 090-8604-4544 西田まで。



齋田跡記念碑と当時の献上米収穫の儀式の様子です



比較研究のため原作コミックの表紙画像をお借りしています。